

理事長挨拶要旨

最初に、会場、オンラインを含め 100 名を超える申し込みがあった事が報告される。

次に、マンホールカードが人気であり、第 18 弾 915 種類、250 に近い団体から発行されていること、令和 4 年 11 月 19 日の所沢マンホールサミットでは 14000 人を超える参加があった事が紹介される。また、受験の最中落ちないマンホール御守りの話題や、多くのマンホーラーにより、目立たなかった下水道の存在と価値に注目が集まったことが加えられる。

講師紹介では、下水道界で働く蓋のプロ、研究、製造、設置、管理、情報発信など最前線で活躍している講師をお招きしたことやマンホール蓋の過去、現在、未来を探っていきたいと述べられ、4 名の話題提供と所属が紹介される。

また、マンホール蓋の英訳に言及があり、専門家に聞いたところ iron manhole cover と言われ、個人的には、the entrance of sewerage system 下水道システムの入り口、the face of sewerage system 下水道システムの顔、その位蓋の持つ、機能、価値があると述べられる。

最後に、研究集会への期待として、蓋の奥義を知ってもらえるものと自負していること、蓋を知ること、下水道を知り、多くのマンホーラーが生まれ育つことを期待していると挨拶。